取説番号 MI-7

52CER Box1（電気錠セット）
52CER Box2（インターホンセット）

飛鶴

取扱説明書

このたびは戸先電気錠システムをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

戸先電気錠システムは、引戸用に開発され、従来にない数多くの新機能を持ち、必ずやお客様に満足いただけるものと確信しております。

御使用に先立ち、当取扱説明書をよくお読みいただいて、十分にシステムを活用される様お願い致します。

目　次

1. システム概要 …… 1
2. 構　成 …… 1
3. ご使用前の準備とご使用方法 …… 2
4. 各構成部品の名称とはたらき …… 5
5. 配線方法 …… 9
6. 取付方法 …… 11

新日軽株式会社
国産金属工業株式会社

1.システム概要

本システムは、玄関引戸向けに開発されました。

① 屋外から

従来通り外部から鍵を使って玄関引戸の解錠はもちろん、暗証番号のボタン操作で解錠ができます。また、お客様の来訪時にはインターホンが御使用いただけます。

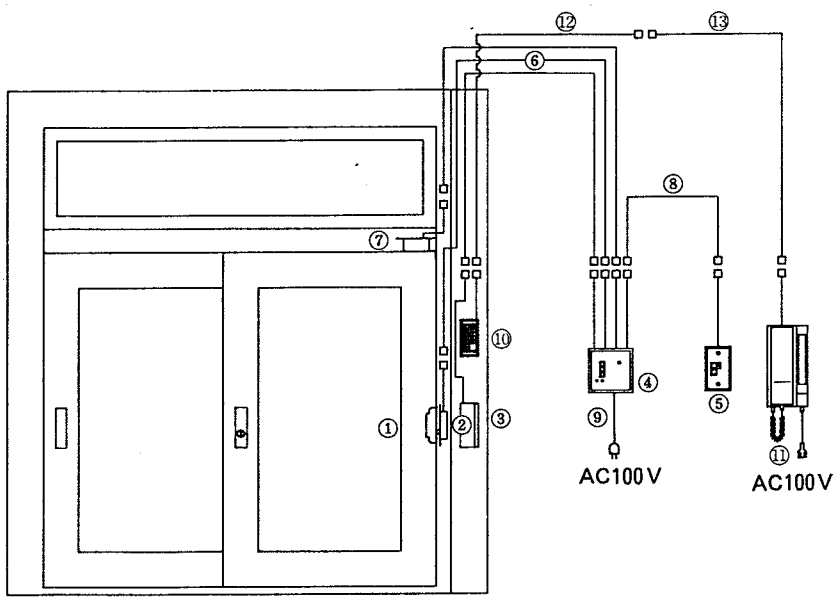
② 室内から

インターホンで来客を確かめた際、室内スイッチプレートを操作することにより、玄関引戸の施・解錠をリモートコントロールできます。玄関引戸のノブを手動操作して施・解錠もできます。

③ 解錠時の案内

暗証番号で解錠をしたとき、室内スイッチプレートの操作で解錠したとき、解錠状態をお知らせします。この時、蹴出しユニットがはたらき、引戸が少し開けられます。

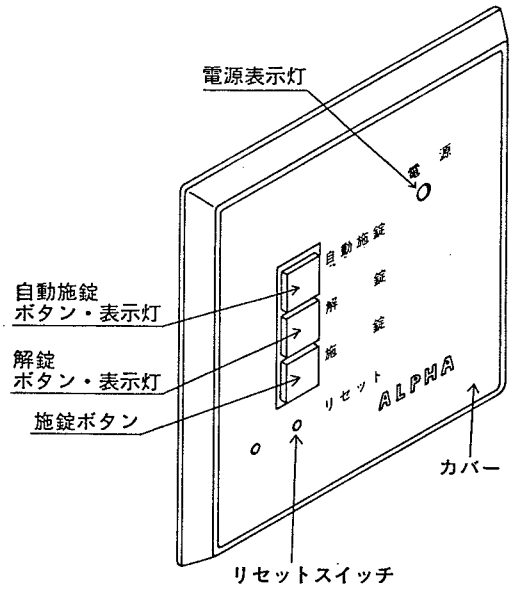
2.構成



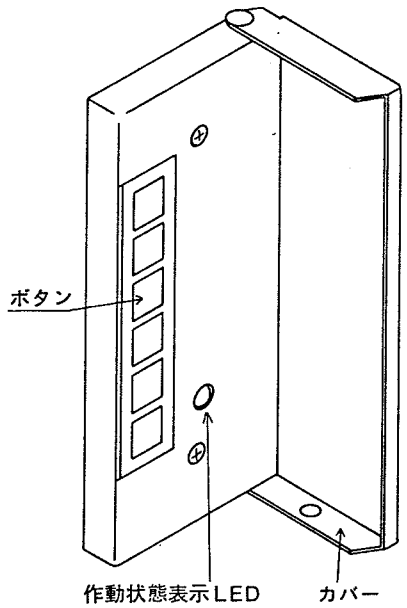
大　箱	番号	品　　名	型　　式	個数	備　　考
52CER BOX1	①	機械錠	DL−178	1	
	②	電気鍵	EW−18	1	
	③	キーボード	EW−21	1	
	④	制御盤	EW−19	1	
	⑤	室内スイッチプレート	NETC−816	1	
	⑥	枠内配線ケーブル	EW−25−2	1	電気錠用　5m
		〃	EW−25−3	1	キーボード用　5m
		〃	EW−25−1	1	蹴出用　5m
	⑦	蹴出ユニット	PB−1	1	
	⑧	屋内配線ケーブル	EW−26−2	1	リモート用　20m
	⑨	〃	EW−26−1	1	AC 100V　3m
52CER BOX2	⑩	インターホン子機	EW−20	1	
	⑪	インターホン親機	NETC−839	1	
	⑫	枠内配線ケーブル	NETC−793−5	1	3m
	⑬	屋内配線ケーブル	NETC−794−7	1	20m

3.ご使用前の準備とご使用方法

制 御 盤



キーボード

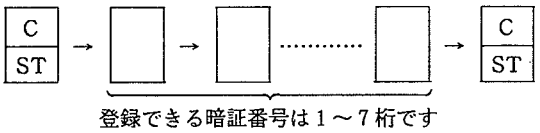


ご使用前の準備（暗証番号の登録）

1. 制御盤の電源表示灯が点灯していることを確認して下さい。
2. リセットスイッチを先の細い棒で押してください。

約5分間登録可能状態となります。

3. キーボードを操作して、暗証番号を登録します。



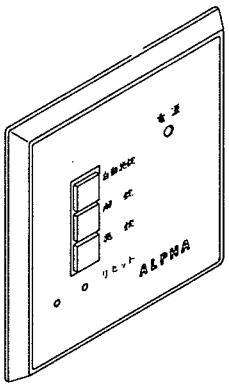
- 上の図の順にボタンを押すとピッピッと音がします。
- 最後に C/ST ボタンを押してピーと音がしたら登録完了です。
- 最後の C/ST ボタンを押した際ピピピピと断続音がしたら登録エラーです。再登録してください。

登録エラーの場合
制御盤のリセットスイッチを押してから5分以内ならば、そのまま再登録できます。5分を経過していたらリセットスイッチを再度押してください。

登録完了したが暗証番号を変更する場合
登録完了と同時にリセット時間が切れます。制御盤のリセットスイッチを押してから再登録してください。

5分以内に登録が完了しない場合
前に登録してある暗証番号がそのまま残ります。

制御盤のご使用方法



1. 自動施錠

(1) 制御盤の自動施錠ボタンを押してください。自動施錠ボタンは押し込まれた状態で止まっています。
(2) 緑のランプが点灯して、自動施錠状態を表示します。
(3) いちど引戸を開けてから閉めると２秒後に電気錠が施錠されることを確認してください。
(4) 自動施錠を取り消す時は、自動施錠ボタンをもう一度押してください。ボタンが戻り、緑のランプも消えます。

2. 解　　錠

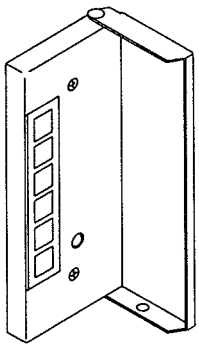
(1) 制御盤の解錠ボタンを押して下さい。
(2) 電気錠が解錠し、１秒後に引戸が少し開きます。
(3) 電気錠が解錠状態か、引戸が開いている状態の場合、解錠ボタンが赤く点灯します。

3. 施　　錠

(1) 制御盤の施錠ボタンを押してください。
(2) 電気錠が施錠すると解錠ボタンの赤のランプが消えます。

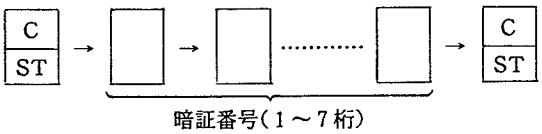
誤操作防止のため、引戸が開いているときは、電気錠は施錠しません。御注意ください。

キーボードのご使用方法



1. 解　　錠

(1) キーボードのフタを開けて、暗証番号を入力してください。



(2) 電気錠が解錠し、1秒後に引戸が少し開きます。

6秒以内でピッピッ

キーボードのボタンを押して次のボタンを押すまでの間隔は6秒以内としてください。6秒を超えると、いままでの入力は無効になります。そのときは、もう一度 [C/ST] ボタンから押しなおしてください。

赤いランプで暗証番号入力可能

始めに [C/ST] ボタンを押すと、キーボードの赤いランプが10秒点灯して、暗証番号の入力可能状態をお知らせします。

15回以上ボタンを押すと30秒休止

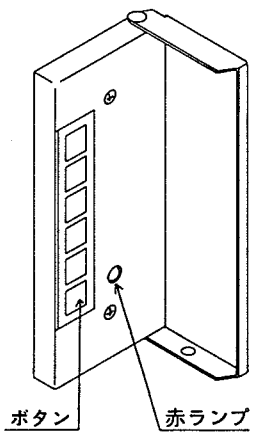
[C/ST] ボタンを押してから、15桁以上の暗証番号を押すと、いたづらと判断し、約30秒間入力を受けつけません。

2. 施　錠

(1) 引戸を閉めます。

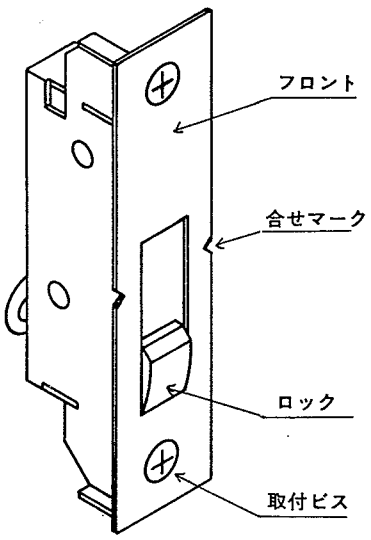
(2) キーボードのフタを開け [LCK/9/0] ボタンを押すと、ピッと音がして電気錠は施錠します。 [C/ST] ボタンは不要です。

(3) 電気錠が施錠するとキーボードの赤いランプが3秒点灯してお知らせします。赤いランプが点灯しないときは、もう一度 [LCK/9/0] ボタンを押してください。



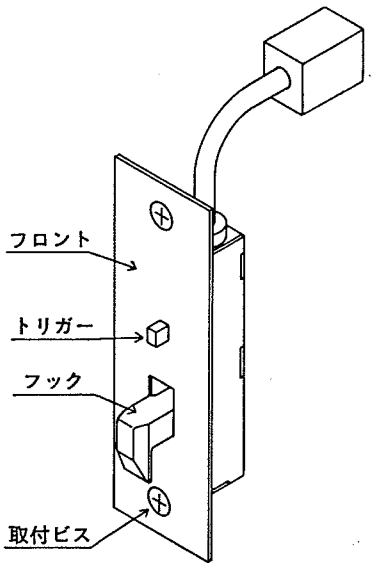
4.各構成部品の名称とはたらき

機 械 錠



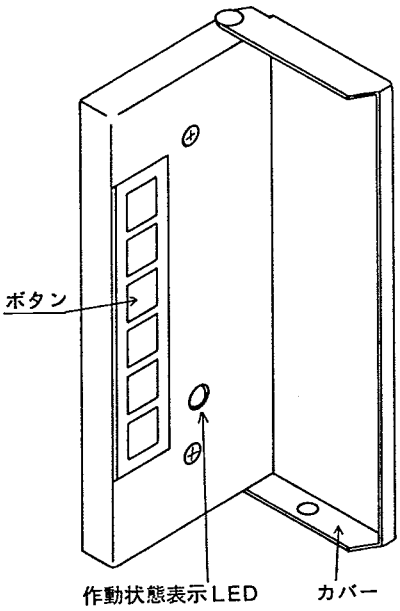
- 電気錠が解錠時は、引戸を引くだけで開けられます。
- 電気錠が施錠時
  屋外からは鍵で開けられます。
  室内からはノブ（つまみ）で開閉できます。
- 合せマークは、戸車等の調整後、機械錠の合せマークと電気錠のフックの上端とが合うよう調整して固定する時に御使用ください。

電 気 錠



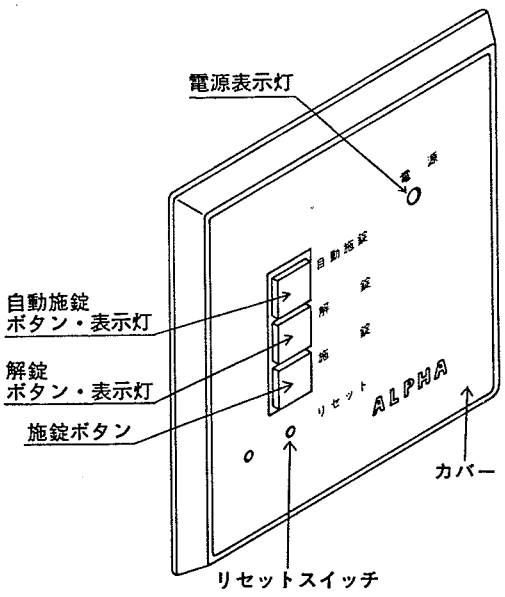
- 引戸を閉じると作動可能状態になります。
- 制御盤の各スイッチにより、自動施錠、解錠、施錠ができます。
- キーボード、室内スイッチプレートにより、施錠、解錠ができます。
- 自動施錠にすると、引戸が閉じてから約2秒後に施錠されます。
- 停電時は、引戸中央のめし合せ錠を御使用ください。
- 施錠時に停電しても、機械錠で解錠できます。

キーボード



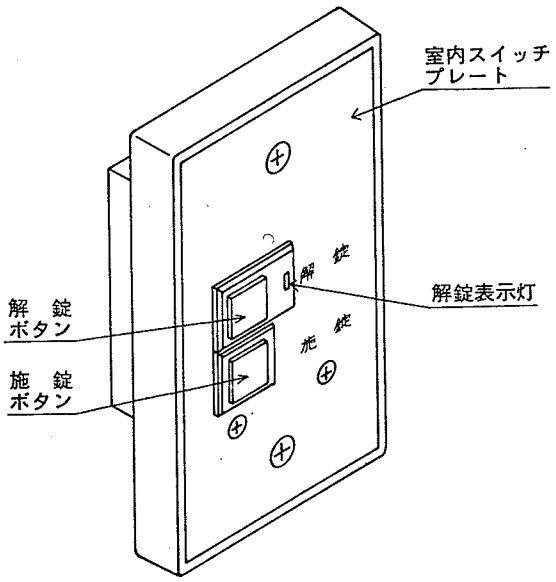
- カバーを開いて LCK / 9/0 ボタンを押すと電気錠が施錠します。
- 完全に施錠したことが確認されると、作動状態表示LED（赤いランプ）が約3秒点灯します。
- ボタンにて暗証番号を入力すると電気錠が解錠します。

制御盤



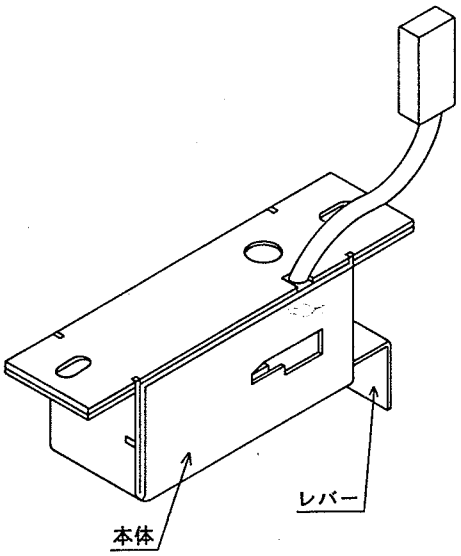
- 自動施錠ボタンを押すと、ボタン表示灯が点灯します。
- 自動施錠ボタンを押したとき、引戸が閉じていたら、一度開けてから閉めてください。引戸が閉って2秒後に自動的に施錠します。
- 自動施錠ボタンをもう一度押すとボタンが戻り、自動施錠が解除されます。
- 解錠ボタンを押すと、ボタン表示灯が点灯し、解錠をお知らせします。
- 施錠ボタンを押すと、解錠ボタンのランプが消えて施錠をお知らせします。
- リセットボタンをピン等で軽く押すと暗証番号が変更できます。
- 電源表示灯は、通電状態をお知らせします。

室内スイッチプレート



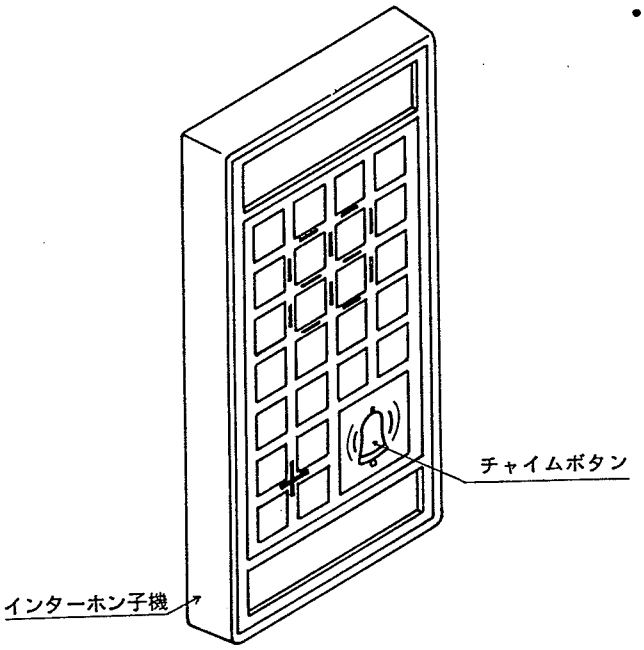
- 玄関から離れた室からリモートコントロールできます。
- 解錠ボタンを押すと解錠され、表示灯が点灯して、お知らせします。
- 施錠ボタンを押すと施錠され、表示灯が消えて、施錠状態をお知らせします。

蹴出ユニット



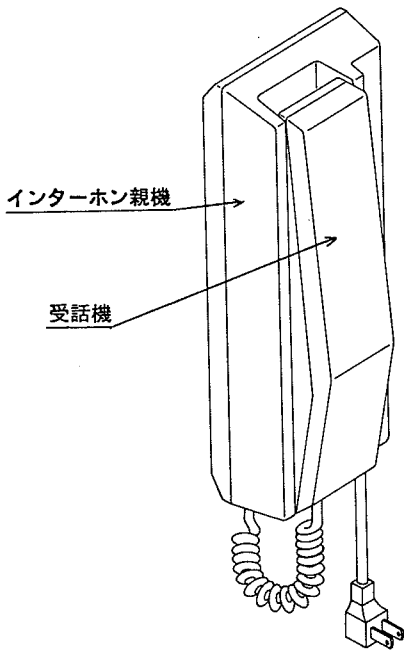
- 引戸を閉めるとレバーが移動し、待機状態にセットされます。
- 電気錠が解錠されるとき、蹴出ユニットのレバーが作動して引戸を少し開けます。これにより解錠されたことを、お客様に知らせます。

インターホン子機



- チャイムボタンを押すと、インターホン親機のチャイムが鳴り、通話できます。

インターホン親機



- 受話機でインターホン子機と通話できます。

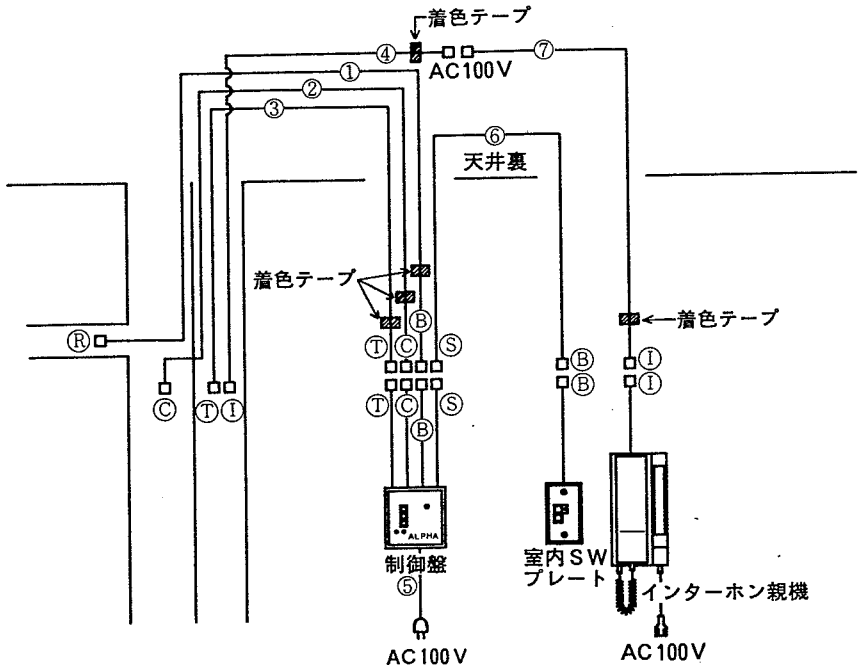
5.配線方法

（1） 枠内配線ケーブルは次の4種類があります

記号	接続場所	芯数	長さ
①	蹴出……（EW−25−1）……制御盤	2	5m
②	電気錠……（EW−25−2）……制御盤	8	5m
③	キーボード……（EW−25−3）……制御盤	8	5m
④	インターホン子機……（NETC−793−5）……屋内配線ケーブル	2	3m

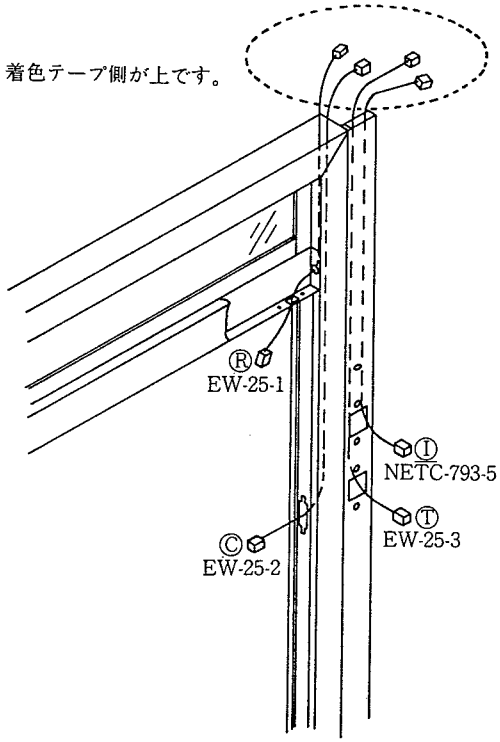
（2） 屋内配線ケーブルは次の3種類があります

記号	接続場所	芯数	長さ
⑤	制御盤……（EW−26−1）……コンセント	2	3m
⑥	制御盤……（EW−26−2）……室内スイッチプレート	5	20m
⑦	枠内配線ケーブル……（NETC−794−7）……インターホン親機	2	20m



（3） ケーブル通線方法

配線ケーブルのコネクターのカバーは結線時まで外さないで下さい。
ペンキやモルタルがコネクター内に付着すると作動不良を起す場合があります。



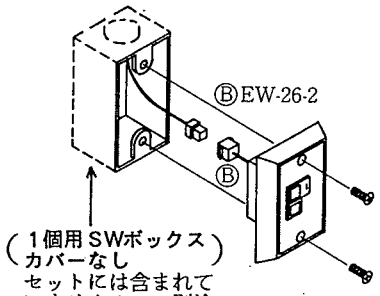
配線上の注意事項

・屋内配線ケーブル

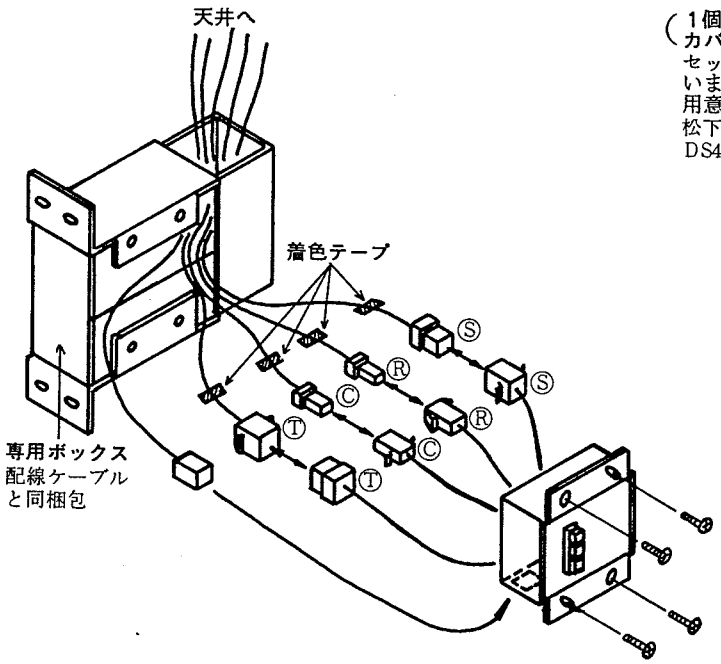
1)配線にあたり電力線と一諸にしないように御注意下さい。

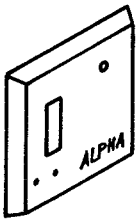
2)湿度の高い所でコネクター接続部がぬれないようにビニール等でカバーして下さい。

3)ネズミ等の出やすい場所での配線は鉛管等を使用してケーブルが噛まれないように注意して下さい。



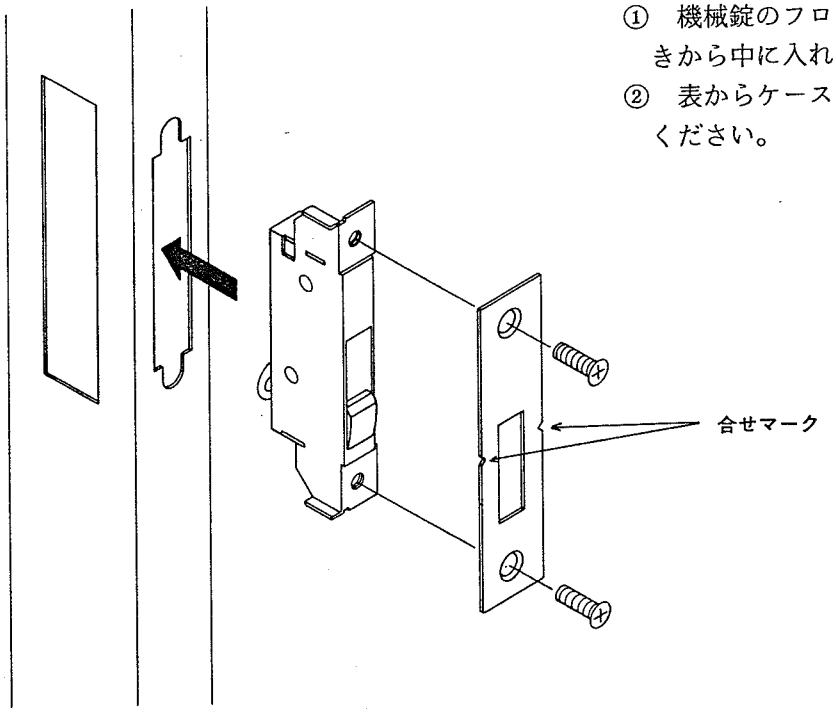
（1個用SWボックス）
カバーなし
セットには含まれていませんので、別途用意してください。
松下電工
DS4911相当





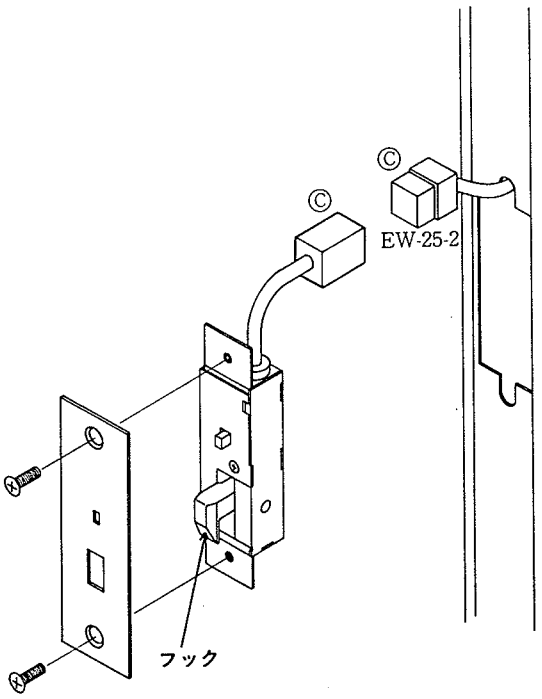
6.取付方法

(1) 機 械 錠

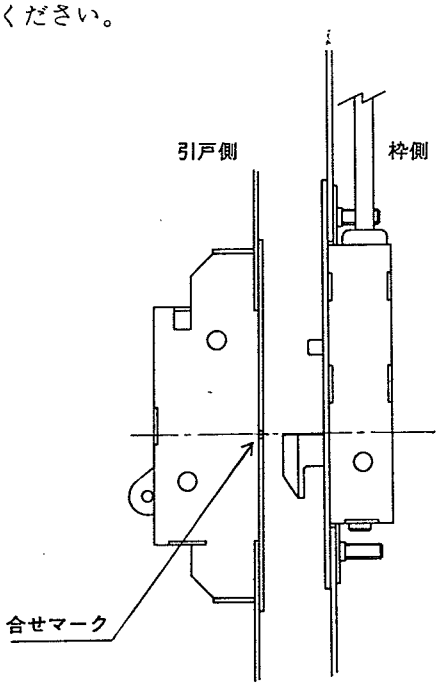


① 機械錠のフロントを外して、ケースを引戸の切欠きから中に入れてください。
② 表からケースをフロントを介してビスで固定してください。

(2) 電 気 錠

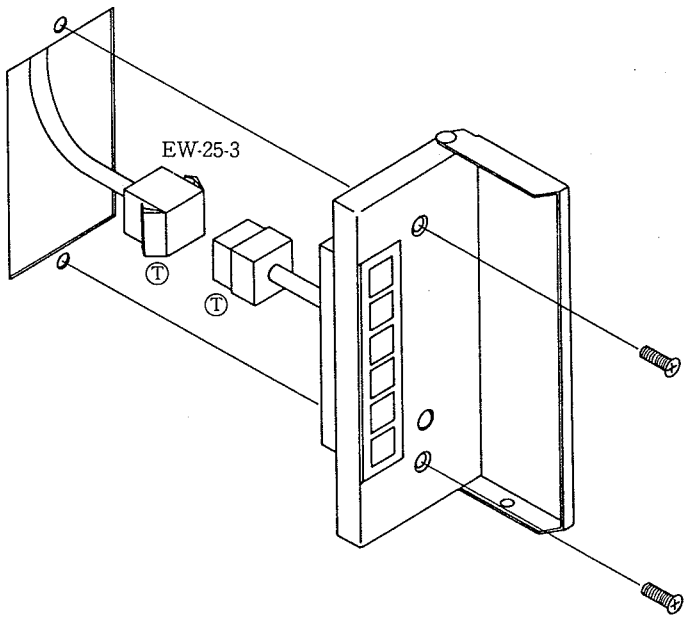


① コネクターを接続し、ケースを枠の切欠きから中へ入れてください。
② フロントとケースで枠のバー材を挟み込んで、ビスで仮止めしてください。
③ 戸車等の調整後、機械錠フロントの合せマークと電気錠のフックの上端とが合うよう調整して固定してください。



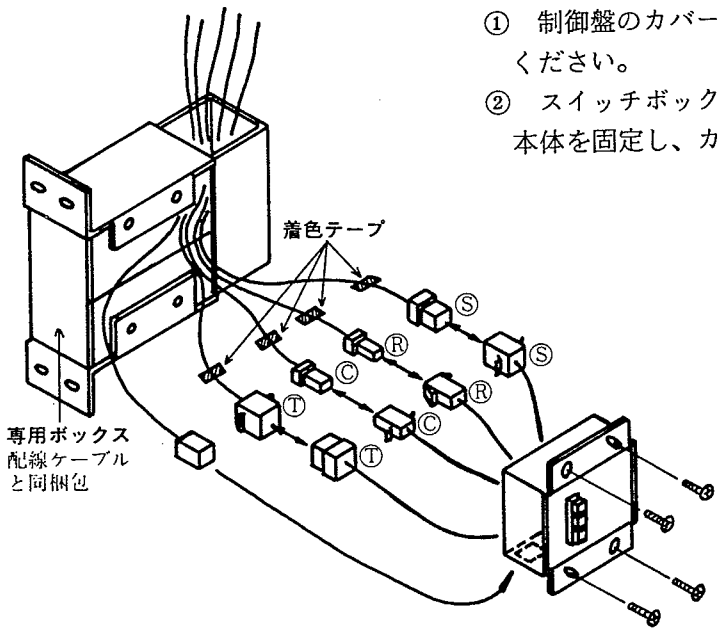
（3） キーボード

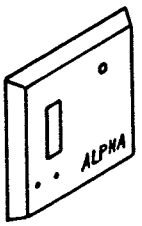
① コネクターを接続し、付属のセットビスにて外枠に固定してください。



（4） 制 御 盤

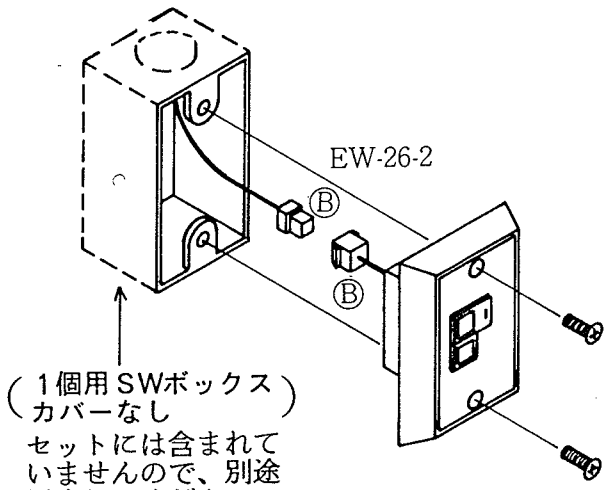
① 制御盤のカバーを外し、各コネクターを接続してください。
② スイッチボックスに付属しているビスで、制御盤本体を固定し、カバーをかぶせて固定してください。





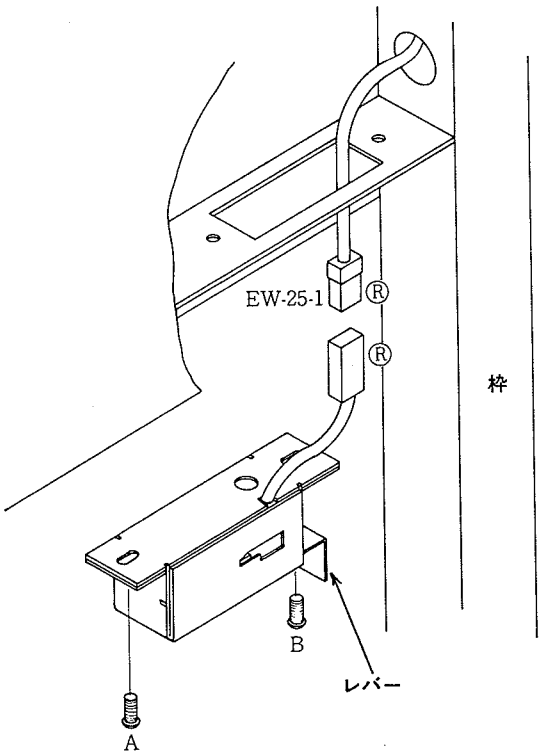
（5） 室内スイッチプレート

① コネクターを接続してからビスで、スイッチボックスに固定してください。



（1個用SWボックス
カバーなし
セットには含まれて
いませんので、別途
用意してください。
松下電工
DS4911相当

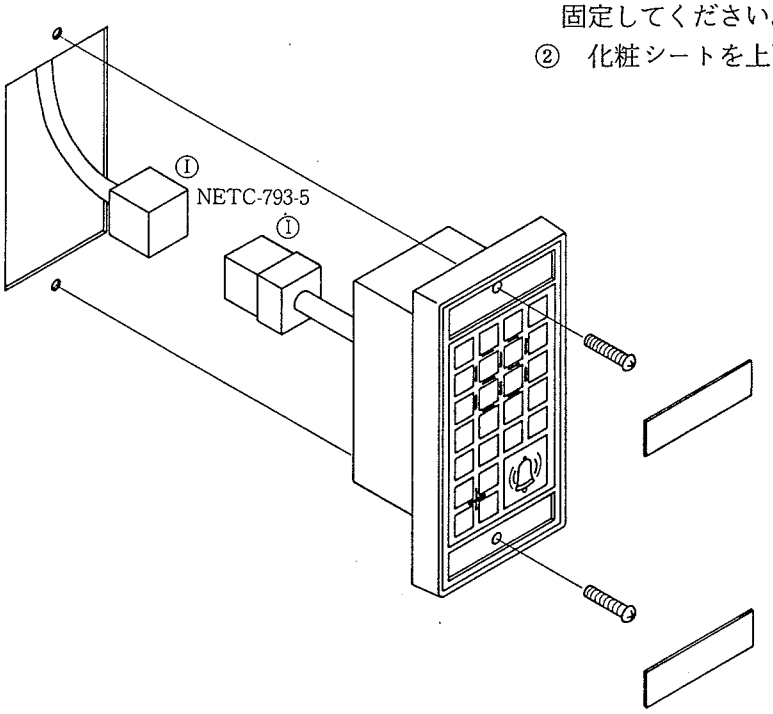
（6） 蹴出ユニット



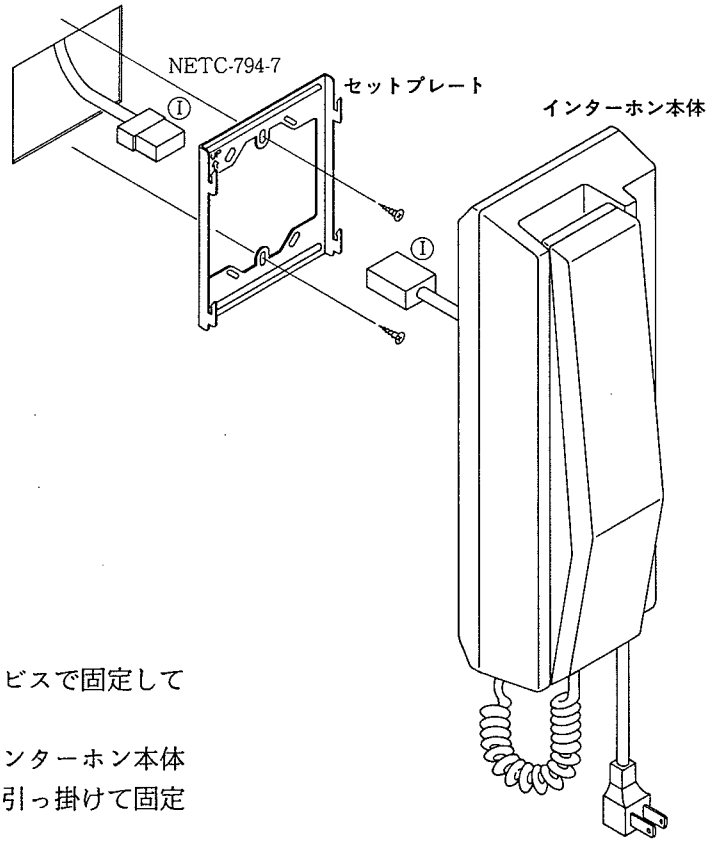
① コネクターを接続してからAのビスを仮止めしてください。
② レバーを枠側に止まるまで引いてください。
③ レバーの穴から枠側のビスBを仮止めしてください。
④ 蹴出ユニットを移動させ、レバーの曲げ部と枠のすきまが1㎜になる様に調整し固定してください。

（7） インターホン子機

① コネクターを接続してから、付属のビスで外枠に固定してください。
② 化粧シートを上下の切欠き部に入れてください。



（8） インターホン親機



① セットプレートを付属のビスで固定してください。
② コネクターを接続し、インターホン本体を上からセットプレートに引っ掛けて固定してください。